

第1回 こども安全対策分科会会議録	
日 時	令和元年9月18日（水）午前10時10分から11時55分
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	片岡、塚本、渡邊、山下、佐藤、角野、澤井、白水、藤森（敬称略） 事務局：大谷地、久保田、佐藤
議 題	1 あいさつ 2 議事 （1）自己紹介 （2）分科会の取組について （3）KYT（危険予知トレーニング）ミニ体験 （4）意見交換・情報共有
議 事	<p>&lt;議事及び報告&gt;</p> <p>(1) 自己紹介 KYTの講師として、子ども会連絡協議会副会長の塚本さんにお越しいただいた。</p> <p>(2) 分科会の取組について 主な取組項目は3つ。小学生の事故予防のためのKYTについて、今年度は保育園、幼稚園の年長児に拡大していきたいと説明。</p> <p>(3) KYT（危険予知トレーニング）ミニ体験 通常2時間のところを1時間に短縮して実施。2グループに分かれ、KYTの4ステップを体験。（下記の意見交換で集約）</p> <p>&lt;意見交換&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の意見を否定しない“ブレインストーミング”という手法はとても素晴らしい。間違ったことを言うてはいけないと思うと意見が言えなくなってしまうが、自分の意見を（否定されずに）発することができる機会を小さい頃から与えられることはとてもよい。加えて危険予知について想像力を働かせていくということが良い経験になると思う。</li> <li>文章ではなく、イラストを使うところが良い。子どもたちが気づきやすいし、意見交換がスムーズになる。</li> <li>昨年分科会に参加しているが、KYT体験は初めて。様々な意見が出て、自分では気づかなかったこともあり、とても貴重な体験だった。子どもたちの反応を見てみたいので、ぜひ園でも取り組んでみたいと思った。</li> <li>小学校で「自分の身は自分で守りなさい」と指導している。このKYTはイラストを用いるので、自分だったらどうだろう…と考えられるところが良い。「気をつけなさい」と教員が言ったところで効果は薄いですが、自分自身で考えたり気づいたりすることで、子どもの中に危険予知の感覚が浸透していくと思う。</li> <li>お互いに意見を出し合って楽しく進められた。会議当初の硬い雰囲気も一気に和んだ気がする。</li> <li>他でも実施したが、子どもたちは間違い探しのゲーム感覚で取り組んでいる。我々大人の想像を超える意見が多数出て、子どもたちの感性の豊かさに感心するばかり。</li> </ul>
資 料	1 委員名簿 2 こども安全対策分科会の取組 3 子ども会KYTについて 4 危険予知トレーニング集 5 パンフレット等（乳幼児事故予防、セーフコミュニティフォーラム等） 6 各種アンケート結果（乳幼児、小学生、中学生）

第2回 こども安全対策分科会会議録	
日 時	令和2年2月20日（木）午後1時15分から2時30分
開催場所	栄区役所本館3階3号会議室
出席者	片岡、渡邊、佐藤、澤井、白水、原※（敬称略） ※代理出席 事務局：久保田、佐藤
議 題	1 座長あいさつ 2 議事 (1) 令和元年度の取組（中間）報告について (2) 子どもの事故予防に関するアンケート結果の報告について (3) 令和2年度の取組について ・セーフコミュニティ連絡帳作成イメージ（案） (4) 意見交換・情報共有
議 事	<p>&lt;議事及び報告&gt;</p> <p>(1) 令和元年度の取組（中間）報告について 第1回分科会で説明した今年度の取組の進捗状況の報告</p> <p>(2) 子供の事故予防に関するアンケート結果の報告について 今年度12～1月にかけて実施した乳幼児アンケート（4か月児、1歳6か月児、3歳児）の中で、「危険だとわかっているが対策を行っていない」保護者の自由意見についてまとめたものを報告。</p> <p>&lt;主な意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が安易に「我が家の子は大丈夫」と思いがちなのだと思った。</li> <li>・こんにちは赤ちゃん訪問の際に事故予防リーフレットを渡すが、中面を開いて説明するほどの時間的余裕はない。</li> <li>・「ある程度のけがは成長の過程で必要」と安易に考えているのでは。</li> <li>・乳幼児期が過ぎて振り返ると危険だったことに気づくが、子育てに夢中になっていると気づけなかったことが多くある。保護者の意識を変えることが大切。</li> <li>・事故事例を示すことで緊張感や危機感を抱くのでは。</li> <li>・第一子の保護者は子育てに関する情報を集める意識の高い方が多いので情報提供する意義はあると思う。</li> <li>・アンケート結果の配布の際に、事例紹介を加える。危ない時期は一時だから、皆で守っていきましょうと訴えて意識付けしていくべき。</li> <li>・子育てサロンで養育者が集まるタイミングで分科会から出向く、区の保健師が出前講座をするなども一つの考えだと思う。</li> <li>・にこりんくは0歳児の保護者が集まるイベントが多く、多いときは50組くらい参加する。ぜひ使ってほしい。</li> </ul> <p>(3) 令和2年度の取組について 新たな取組みである「セーフコミュニティ連絡帳」について企画説明。令和3年度初のみ区内の小学校全学年対象、その後は新1年生の配付を予定している。規格・掲載内容について意見交換。</p> <p>&lt;主な意見交換&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳は学校によっても、学年によっても使い方は違うだろうが、小学生の誰もが持っているものであり、着眼点が素晴らしい。</li> <li>・児童もその保護者も手に取って見るので、セーフコミュニティのPRになると思う。</li> <li>・セーフコミュニティ（全体）紹介、こども安全対策分科会の紹介、防犯対策、相談窓口一覧、サイバー対策、食育のほかに、防災について掲載してはどうか。自分の防災拠点、避難場所を書き込める欄を設ける、備蓄チェックリストなど。</li> </ul>

議 事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校とも1月から入学説明会が始まる。学校への周知や納品時期を事前に調整してほしい。</li> <li>・次年度の第1回分科会で掲載案を提示してもらい、内容についてもっと議論したい。</li> </ul>
	<p>(4) 意見交換・情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども安全対策分科会の活動も含めて、セーフコミュニティの認知度を上げたい。若年層や乳幼児の保護者の世代の認知度が低い。一部の関係者だけ盛り上がってはいけない。そのためには地域の力が必要。防災訓練ひとつにしてもセーフコミュニティの一環だということをPRしていかななくては。</li> <li>・ケータイ・スマホサミットは今年度の実施を見送ったが、来年度はサイバー対策をしっかりやりたい。特にスマホは心配なので、出前講座のように出向いて保護者に向けてPRをしたいと考えている。</li> <li>・幼稚園向けに配付してもらったKYTの書籍を、園内のイベントの際にPRコーナーを設けて自由に読んでもらえるようにしたところ、保護者と園児が楽しそうに読んでいた姿が見受けられた。年長クラスでも使っている。今後も有効活用させていただく。</li> <li>・子育てを経験した者として、乳幼児のアンケート結果を見ながら懐かしさを覚えた。子どもがけがをすると、お母さんは自分を責めてしまう。お母さん方が後悔することのないように、危険予知を広めていくべきと改めて思った。子育て情報を得たり、不安を解消することができる子育てサロンのような場所で、事故予防を広めていけるとよいと思った。</li> <li>・セーフコミュニティ連絡帳の幼稚園版を考えてみては。園により仕様はまちまちだが、区として同じものを使えば一体感が出てよい。</li> <li>・中学生は連絡帳を使わないが、学校からの通知等を入れる透明のポーチは全学年共通だと思う。そのポーチにセーフコミュニティのPRを入れるのもよいと思う。</li> </ul>

第1回 スポーツ安全対策分科会 会議録	
日 時	令和元年6月27日（木）午後7時から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	委員：白川、中野、三谷、矢合、松村、大塚、片岡、末村 栄区役所（地域振興課）：根本、宍戸、瀬川 （欠席者：管、松尾、磯川、石川）
議 題	1 座長の選出について 2 令和元年度の分科会活動について 3 分科会企画講習会の開催について 4 啓発物品の作成と活用について 5 分科会だよりの発行について
議 事	1 座長の選出について 互選により、栄区体育協会の白川会長が座長として選任された。  2 令和元年度の分科会活動について 今年度の取組方針は、 ・けが予防講習会の開催、 ・ウォーキングの推進、 ・専門家を交えたより効果的な取組と決定した。  3 分科会企画講習会の開催について 実施概要が決定した。 第1回：令和元年10月14日（月 体育の日）、午後3時から5時まで。 栄スポーツセンター第2体育室にて、ウォーキングに関する講習会を実施する。 第2回：令和2年2月頃、専門家によるけが予防のための取組について講習会を実施する（予定）。  4 啓発物品の作成と活用について スポーツ安全対策分科会としての啓発物品を作成し、各種スポーツ大会等において、運動中のけが予防を呼びかける。  5 分科会だよりの発行について 令和2年3月に発行し、広く周知を図る。
次回予定	第2回スポーツ安全対策分科会 日時：令和2年3月上旬の平日、午後7時から 場所：栄区役所内の会議室で開催予定
資 料	・栄区セーフコミュニティ現地審査時説明資料（平成30年6月） ・各団体研修会等の取組一覧（別紙） ・セーフコミュニティさかえパンフレット ・スポーツ安全対策分科会だより（第7号）

平成31年度 第1回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	平成31年4月18日(木) 午前10時30分から
開催場所	栄区役所本館3階 3号会議室
出席者	委員：輿石、関、山田(龍)、佐々木、田中、平間、西川、高橋、三浦(敬称略) 事務局：根本、石塚、村田
議 事	<p>1 活動報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より3月に開催された本郷台駅前自転車等放置防止キャンペーンについての報告があった。</li> </ul> <p>2 活動計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より平成31年度7月までに開催されるキャンペーンについて説明があった。</li> </ul> <p>3 平成30年度 スクールゾーン対策協議会の対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局が作成したスクールゾーン対策協議会要望件数一覧について説明があり、確認を行った。</li> <li>・要望に対して、路面標示の補修等については、ほとんどが改善できたことを確認した。</li> <li>・改善できなかった箇所については、物理的・法律的に改善できない箇所や、小学生への日々教育による改善効果が高いと考えられる箇所等があったことについて確認し、今後もより安全な登下校ができるように、皆で検討していくこと了承した。</li> </ul> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発物品(回覧板・ヘルメットチラシ)について確認をした。</li> <li>・次回の交通安全対策分科会を、平成30年9月5日に行うことが決定した。</li> </ul>
資 料	1 平成30年度スクールゾーン対策協議会要望件数及び対応一覧

令和元年度 第2回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	令和元年9月4日(水) 午前10時30分から
開催場所	栄区役所新館4階 9号会議室
出席者	委員：輿石、関、山田(龍)、佐々木、田中、平間、西川 高橋、三浦(敬称略) 事務局：根本、石塚、村田
議 事	<p>1 活動報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より5・6・7月に開催されたキャンペーンについての報告があった。</li> </ul> <p>2 活動計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より9月に開催予定されている交通安全キャンペーンについての説明があった。</li> <li>・各期(期間)の交通安全運動・強化月間の交通安全運動・地域の交通安全に関する取組について、各イベント・啓発・キャンペーンを主催する委員から、実施内容や日時・場所等の説明があり、内容の確認や意見交換を行った。</li> </ul> <p>3 栄区内の交通事故発生状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄警察署より栄区内における交通事故発生状況について報告があった。</li> <li>・栄区内の交通事故のうち、6割以上、高齢者が関わる事故であると報告があった。</li> </ul>
資 料	<p>1 令和元年7月末の栄警察署管内人身事故発生状況(概数)【栄警察署】</p> <p>2 「スクールゾーン対策協議会」について</p>

令和元年度 第3回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	令和元年11月14日(木) 10時30分から
開催場所	栄区役所本館3階3号会議室
出席者	委員：平間、駒田、輿石、関、山田、小野、田中、西川、高橋、三浦(敬称略) 事務局：石塚、村田
議 事	<p>1 活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より9・10月に開催された交通安全キャンペーンの報告があった。</li> </ul> <p>2 活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より12月に開催予定の交通安全キャンペーンに関する連絡があった。</li> </ul> <p>3 栄区内の交通事故発生状況(栄警察署からの情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月～10月末までの人身事故発生件数は198件(前年と同じ)、死者は2名(前年比+2)、負傷者は230人(前年比-14)</li> <li>・死亡事故はいずれも交差点(神奈中車庫前、笠間)での右折時の衝突。バイクは小さく見えるので、速度感覚が遅く見える。</li> <li>・検問時に酒気帯びが出るのはバイクの運転手が多い。</li> <li>・振込サギが今年はまだ67件発生している。(例年年間50件ほど)高齢者の女性の被害が多い。</li> </ul> <p>4 第1回栄区セーフコミュニティ傷害サーベイランス分科会の内容紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーベイランス分科会では各分科会の取組を学識経験者に評価をいただいている。</li> <li>・30年度の取組から今後の取組重点内容を決めた。 (各季におけるキャンペーンの充実、スクールゾーン協議会との連携、自転車ヘルメット着用率や高齢者の交通安全意識の向上)</li> </ul> <p>5 啓発物品購入予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランドセルカバー購入の際は、その半額は区役所でまかなう。</li> <li>・今後いろいろなキャンペーンに使えるよう、区役所で注文をとっている。 お守りリフレクター 1500 カラータックルバンド 2000 保冷バッグ 500</li> </ul> <p>6 各小学校の「学援隊(登下校見守りボランティア)」に関するアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校で行われている「児童の登下校時における見守り活動ボランティア」の状況を区役所でも把握したい。</li> <li>・今後、アンケート項目を精査し、各校に依頼したい。結果をまとめ、各校にフィードバックすることにより各校もよいヒントが得られると思う。</li> </ul> <p>7 自転車乗車時のヘルメット着用率アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年2～3月に区内市立保育園の園児保護者対象にアンケートを実施してきた。</li> <li>・H27年度からH30年度までの数値をまとめた。数値の経過を見ると、ヘルメット着用に関して、年々保護者の意識が高まってきたとは言い難いが、H30年度の着用率は一番高くなっている。</li> <li>・母体数が増えたと多くないと信頼できる数値とは言えない。</li> <li>・H30はヘルメット着用が9割を超えているが、こちらの地区では着用している姿はあまり見られない。地域差があるのだろうか。</li> </ul>

資 料	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和元年10月末の栄警察署管内人身交通事故発生状況（概数）【栄警察署】</li><li>・第1回栄区セーフコミュニティ傷害サーベイランス分科会資料</li><li>・自転車乗車時のヘルメット着用率アンケート集計結果（区内市立保育園対象）</li></ul>
-----	---



令和元年度 第4回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	令和2年2月7日（金）10時20分から
開催場所	栄区役所本館4階1号会議室
出席者	委員：近藤、平間、駒田、輿石、森、関、山田、佐々木、田中、西川、羽柴、高橋、三浦 （敬称略） 事務局：根本、石塚、村田
議 事	<p>1 活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局より12・1・2月に開催された交通安全キャンペーンについて報告があった。</li> </ul> <p>2 活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局より3・4月開催予定の交通安全キャンペーンの連絡があった。</li> </ul> <p>3 栄区内の交通事故発生状況（栄警察署からの情報提供）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の県内死亡事故は132名。過去一番少ない結果となった。</li> <li>・栄区内の死亡事故は、昨年はゼロだったが、2名になってしまった。いずれも交差点（神奈中車庫前、笠間）での右折時の衝突。今年はゼロに戻していきたい。</li> <li>・今年1月は県内で事故が多発した。</li> <li>・栄区内では子どもの事故は少ないが、オートバイの事故、住宅街の一般市道での事故が多い。各団体でも何かの機会に知らせてほしい。</li> <li>・区内では高齢者の横断中の事故も多い。天神橋付近はルールを守らない横断者をよく見て注意している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 天神橋付近は施設面で何か課題はあるのか。（委員）</li> <li>→ 橋の部分は下が空洞なので防護柵も設置できない。モラルに頼るしかない。（警察）</li> </ul> </li> <li>・昨年は本区が狙われたのか、振込サギが795件と急増した。（例年年間50件ほど）キャッシュカードを預けてしまう事例が多く、被害は1億8700万にも及んでしまった。</li> </ul> <p>4 児童登下校時の見守り活動アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下校時の方が子どもは開放的になり危険だが登校時より下校時が見守りの人数が少ない。</li> <li>・見守りの人数を確保するため、保護者を当番制でお願いしている学校が多い。</li> <li>・地域の方がボランティアになってくださるのは、学校はとてありがたい。児童に紹介したり感謝の気持ちを表したりする機会を設けている。</li> <li>・ボランティアの層が厚い学校は、学援隊特例型に登録し、学校内のパトロールや環境整備などにもかかわってくれているケースもある。</li> <li>・各学校に使ってもらおうと、区では長い横断誘導旗を配布する予定。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ・1本だけではあまり意味がないのでは。（委員）</li> <li>・長いと風でふらつく、車やバイクに旗が接触しやすいといったこともあり、配布する際は注意を呼びかけるといい。（警察）</li> </ul> </li> <li>・このボランティアに参加したいという人がいたら、区役所に連絡すればいいのか。（委員） <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ・直接学区の小学校に連絡してほしい。（事務局）</li> </ul> </li> </ul> <p>5 自転車に同乗する幼児のヘルメット着用率調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も区内市立保育園（公田、上郷、飯島、桂台）に協力していただき、園児保護者に対し、自転車ヘルメット着用にかかわるアンケートを実施する。</li> <li>・2月中旬に各園へアンケート依頼、送付する。4月には回収、集計ができるようにする。</li> <li>・アンケートの内容項目は今年度も変えずに経年変化をみていく。</li> </ul> <p>6 自転車用ヘルメット着用啓発チラシの作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も自転車用ヘルメット着用の啓発を図るため、チラシを作成・配布する。</li> <li>・区内自転車販売店3店にご協力いただき、チラシの裏面に、幼児・児童向け自転車用ヘル</li> </ul>

	<p>メットの値引き、無料での自転車安全点検の特典を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・配布対象は、区内全小学校、保育園、3歳児健康診断対象者の保護者。</li></ul>
資 料	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和元年12月末の栄警察署管内人身交通事故発生状況（概数）</li><li>・児童下校時の見守り活動にかかわるアンケート集約結果</li><li>・自転車に同乗する幼児のヘルメット着用率調査</li><li>・自転車ヘルメット着用啓発チラシ</li></ul>

令和元年度 第1回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊定例会 議事録

令和元年5月7日 15:30～

・出席者

主任児童委員：宮崎・北野

にこりんく：五十嵐

こども家庭支援課：広瀬係長・佐々木・小野

社協：山口

1 新メンバー確認

上記出席者

にこりんく 細川さん（本日欠席）

2 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

「いのちの授業」のアンケート集約について確認→前年度担当者が集約し、にこりんく、協力してくださったお母さんに送付済み

3 今年度活動について

(1) 「さかえっ子の笑顔ひろげ隊」活動周知

前年度同様に実施

12月民生児童委員の改選があるため、新しい委員にも周知できる時期に民生委員児童委員協議会での啓発を検討

(2) 赤ちゃんふれあい体験について

夏休みの地域育児教室への参加募集

参加人数や地域の事情を考慮し「リエゾン笠間」会場は除く

・5月の中学校長会で周知

・6月6日の専任会で説明

・6月17日の午前中に実施される主任児童委員会でちらし（赤ちゃんふれあい体験、いのちの授業）を渡し、学校訪問の際に中学校に届けていただく。ちらしはカラー印刷がよい。

必要枚数は、区より各学校に確認する。

締め切りは昨年同様の時期とする。（昨年は7月17日）

※参加者には表彰状、参加賞もあることを伝える。

(3) いのちの授業

昨年度は2校で実施

・西本郷中学校：今年度も実施希望あり。

・桂台中学校：昨年度と同様の内容にするかは検討したいが実施希望はあり。

・小山台中学校：2年前1年生に胎児人形、妊婦ジャケット、ドップラーを用いて授業を実施。今年度3年生になることもあり、前回の授業の流れで実施できないか主任児童委員から話をもちかけてみたい。

・本郷中学校：3年生にNPOが性教育の授業を実施している。

- ・事務局としては対象を 3 年生に限定していないことを確認する。学校との話し合いの中で対象者、実施時期等を相談しながら実施できる学校がふえていくとよい。
- ・実施内容についても充実を図っていく。

(4) 栄区民生委員児童委員協議会での啓発

各地区の定例会に出席して実施。昨年度は 10～11 月を中心に実施した。(虐待防止月間) 今年度は委員の改選もあり新しい委員にも周知できる時期も検討する。  
虐待対応チーム保健師と協力して実施。

4 その他

5 次回の日程

7月23日(火) 15時30分

令和元年度 第2回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 事務局打ち合わせ 議事録

- ・日時：令和元年7月23日 15:30～17:00
- ・出席者  
主任児童委員：宮崎・北野  
にこりんく：五十嵐  
社協：山口  
こども家庭支援課：広瀬係長・小野・佐佐木

1 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

- 【追加情報】・虐待防止連絡会にて、いのちの授業周知したところ、小山台中学校の養護教諭関心あり。中学2年生を対象に実施したいという希望があった。
- ・赤ちゃんふれあい体験について、中学校校長会にて周知。主任児童委員に協力してもらい、ちらし配布も行った。

2 啓発活動について

日時	内容	場所	配布数
6月21日	孫育て講座	にこりんく	24
6月25日	児童虐待防止連絡会	区役所	30
8月2日	赤ちゃんふれあい体験(中野)	中野ケアプラザ	
8月9日	赤ちゃんふれあい体験(区役所)	区役所	
8月16日	赤ちゃんふれあい体験(小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	
9月7日	ステーションまつり	次世代交流ステーション	400
9月8日	本郷第三地区子育て分科会	本郷小学校	100
11月2日	区民祭	本郷中学校	500
11月1日～8日	児童虐待防止月間啓発展示(配架)	区役所	昨年同様
12月14日	虹のふれあいコンサート	栄公会堂	300

3 「あかちゃんふれあい体験」参加申し込み状況

\*小山台中学校:8名、本郷中学校:5名

8/2 中野地域ケアプラザ 2名(保育士:向山)、(主児協力:タカハシさん)

8/9 栄区役所 9名(保育士:向山、小野)、写真:佐佐木  
(主児協力:タノイさんまたはシロウズさん)

7/26に主児会議あり、その他協力できる方がいれば、宮崎さんから小野さんへ連絡する。

区役所会場のみ、記録用に写真撮影行う。

8 / 16 小菅ヶ谷地域ケアプラザ 2名(歯科衛生士:佐佐木)、(主児協力:宮崎さん)

(1) 事前準備

①参加者へ区から事前連絡をする。

【連絡内容】各会場 9:30 集合。服装：動きやすく、汚れてもよいもの  
持ち物：タオル、飲み物  
来所できない場合は、区役所へ連絡すること。

②区物品準備：中学生参加者分の水・記念グッズ、手指消毒

(2) 当日の流れ

- ・9:30 集合。保健師から説明（参加コメント発表、アンケートか感想について）。
- ・受付や体重測定など協力してもらう。
- ・最初のスタッフ紹介時に、保健師から紹介してもらう。氏名は中学生が自分で名乗ってもらえばよいか。
- ・各会場のプログラムに参加。手遊び等は中学生も一緒に参加できるものが望ましい。
- ・中学生から、参加コメント発表。アンケートか感想記入してもらい回収。
- ・水、記念グッズ渡す。賞状は夏休み明けまでに学校へ渡す。

4 今後の活動について

(1) いのちの授業

【今年度希望がある中学校】(昨年度実施時期)

- ・西本郷中学校 (2/26、県立高校合格発表前日)
- ・桂台中学校 (3/7、卒業式前日)
- ・小山台中学校 (新規、実施希望時期は宮崎さんが学校に確認する)

【内容について】

- ・昨年度は人数の都合上、交流してから授業を受ける児童がいた。授業→妊婦体験→赤ちゃん交流の流れにしたほうが、理解しやすいのではないか。
- ・学校との打ち合わせを重ねてより充実した内容にしたい。そのためには、助産師を外部講師ではなく、区職員対応にしてほしい。(外部講師だと、打ち合わせ分の予算ないため)
- ・職員が変わっても、同じクオリティーで実施できるようにパッケージ化できたほうがよいのではないか。
- ・自身の身体を大事にすることを、もっと PR したほうがよいのではないか。
- ・西区以外の区で実施している授業も見学したい。
- ・本郷中学校で NPO が行っている性教育も SC チームで見学できるとよい。
- ・胎児モデル体験は見せるだけではなく、代表者でもよいので実際に触らせてほしい。見るだけより、同級生が体験したことを共有できたほうがよいのではないか。

- ・交流のテーマは当日ではなく、事前に参加する母へ説明しておいたほうが、話しやすい。合わせて、学生にも質問は事前に考えてもらうように伝えておく。事前につたえていなかったため、昨年は思い出して泣く母や、児童から質問がないことがあった。

⇒内容については SC チームで今後検討していく。(土井助産師も含め)

**【周知について】**

- ・校長会でのみ周知していたが、養護教諭にも周知したほうがよい。

5 その他

- ・小山台小学校での講演会について（社協より）

1～2年生：11/6(水)AM

テーマ：みんなで仲良くしていくためには 講師：港南療育センター看護部長

3～4年生：11/5(火)AM（仮）

テーマ：みんなちがってみんないい 講師：ひうら会長

6 次回日程

9月25日(水)10時～

令和元年度 第3回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 事務局打ち合わせ

令和元年9月25日 10:00～

1 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

2 啓発活動について

日時	内容	場所	配布数
6月21日	孫育て講座	にこりんく	24
6月25日	児童虐待防止連絡会	区役所	30
8月2日	赤ちゃんふれあい体験(中野)	中野ケアプラザ	1
8月9日	赤ちゃんふれあい体験(区役所)	区役所	8
8月16日	赤ちゃんふれあい体験(小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	2
9月7日	ステーションまつり	次世代交流ステーション	300
10月13日	本郷第三地区防災訓練	ローレル公園	30
11月2日	区民祭	本郷中学校	400
11月1日～8日	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	
12月14日	虹のふれあいコンサート	栄公会堂	300

3 「あかちゃんふれあい体験」実施結果

\*小山台中学校:8名、本郷中学校:5名

8/2 中野地域ケアプラザ 1 (保育士:向山)

8/9 栄区役所 8 (保育士:向山、小野)

8/16 小菅ヶ谷地域ケアプラザ 2 (歯科衛生士:佐佐木)

3 今後の活動について

\*区民まつり:10時～配布 にこりんく2名、宮崎さん、区係長、区職員2名

エコバッグ、クリアファイル、リーフレット、リボン、マグネット、

リーフレット:にこりんく(子サポ、案内)、にじ、フリースペース 18日までに区役所に持参お願いします。

\*いのちの授業:11月21日西区見学

未実施校へのアプローチ:上郷中、飯島中に実施校の見学を勧められるとよいが・・・

4 その他

5 次回日程

11月29日10時



令和元年度 第4回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 事務局打ち合わせ

令和元年 11月29日 10:00～

1 前回事務局打ち合わせの確認

2 啓発活動について

日時	内容	場所	配布数
6月21日	孫育て講座	にこりんく	24
6月25日	児童虐待防止連絡会	区役所	30
8月2日	赤ちゃんふれあい体験(中野)	中野ケアプラザ	1
8月9日	赤ちゃんふれあい体験(区役所)	区役所	8
8月16日	赤ちゃんふれあい体験(小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	2
9月7日	ステーションまつり	次世代交流ステーション	300
10月13日	本郷第三地区防災訓練	ローレル公園	30
11月2日	区民祭	本郷中学校	400
11月1日～8日	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	60
12月14日	虹のふれあいコンサート	栄公会堂	300

3 区民まつりについて

配布対象について事前に確認したほうがよい(こどもの数?おとなの数?)

何度も来る人への対応

「ひろげ隊」の紹介をした看板があるとよいのではないか。

グッズについては今後予算との兼ね合いで検討

4 今後の活動について

\*いのちの授業

- ・西区岡野中学校見学:北野さんのまとめ参照

学校との打ち合わせが大切になる。丁寧に実施してほしい。

内容については、虐待予防の視点。「いのちの大切さ」を中心に。周りの信頼できるおとなに相談することをつたえる。性教育の視点とはしていない。

- ・西本郷中学校 2月27日(木) 打合せ 青さん勝島さんと連絡とり日程調整
- ・桂台中学校 3月4日(水) 打合せ 白水さん同席難しいときは田野井さんに声かけを

5 次回日程

2年1月29日(水) 10時 会場「にこりんく」

令和元年度 第5回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 事務局打ち合わせ

令和2年1月29日 10:00～

出席者

主任児童委員：宮崎・北野

にこりんく：岩堀・細川

こども家庭支援課：広瀬係長・小野・佐佐木

1 前回事務局打ち合わせの確認

2 啓発活動について

日時	内容	場所	配布数
6月21日	孫育て講座	にこりんく	24
6月25日	児童虐待防止連絡会	区役所	30
7月3日	子育て本音トーク	にこりんく	14
8月2日	赤ちゃんふれあい体験（中野）	中野ケアプラザ	1
8月9日	赤ちゃんふれあい体験（区役所）	区役所	8
8月16日	赤ちゃんふれあい体験（小菅ヶ谷）	小菅ヶ谷ケアプラザ	2
9月7日	ステーションまつり	次世代交流ステーション	300
10月13日	本郷第三地区防災訓練	ローレル公園	30
11月2日	区民祭	本郷中学校	400
11月1日～8日	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	60
12月14日	虹のふれあいコンサート	栄公会堂	300

3 いのちいの授業について

【2校共通】

- ・にこりんく、区役所分の駐車場確保。
- ・タイムスケジュール作成し、スタッフへ配布。  
主任児童委員は2/17 主児定例会会議(9:30)前に7号会議室へ。  
にこりんくはメール送付
- ・アンケート結果をお渡しする。
- ・救急箱、おむつ交換シートなどにこりんくで準備可能。持参物品の調整は細川さんへ。
- ・ふれあい体験について、にこりんくで予約した方については、にこりんくから確認連絡も行う。

①西本郷中学校 2月27日(木)

- ・当日スタッフ(9時集合)

主任児童委員：7名(宮崎、北野、青、勝島、乙川、田野井、中丸)

にこりんく：岩堀、他1名(控室1名、エレベーター誘導1名配置)

区：広瀬係長、佐佐木、土井、雇用助産師(重原、計良)、他調整中

- ・ふれあい体験母子(1/29時点)：前半11組、後半14組

- ・会場設営：武道室の養生シート張りは当日全員で実施。

エレベーター横にベビーカー置き場を設営。

養生シート、養生テープは多めに準備する。

②桂台中学校 3月4日(水)

- ・当日スタッフ

主任児童委員：5名(宮崎、北野、白水、大井、田野井)

にこりんく：岩堀、他1名

区：広瀬係長、土井、向山、小野、佐佐木、雇用助産師(重原、計良)、他調整中

- ・ふれあい体験母子 1回目：4組、2回目：3組、3回目2組

- ・母子の募集について：2月1週目までは0歳中心に声掛け、それ以降は1歳児にも声をかける。桂台中は休憩時間がないので、協力依頼をする際に配慮が必要か。

5 その他

- ① SCの活動にフレンズ SAKAEも加わりたい。

→区政推進課に広瀬係長から確認。参加可能であれば、次年度から事務局として参加。

SCの活動もいのちの授業メインになりがちだが、他の活動も検討していきたい。

- ② 本郷中学校の性教育見学について

3/3(火)10時～、本郷中学校体育館

桂台中学校のいのちの授業前日なため、区の参加については、持ち帰り検討。

6 次回日程

3/25(水)10時～、場所は未定。

# 令和元年度 第1回 栄区セーフコミュニティ 高齢者安全対策分科会 議事録

○ 日時

令和元年6月6日(木) 午後2時～3時40分

○ 会場

栄区役所 本館4階 2号会議室

○ 出席者 (50音順)

湯瀬座長、浅間委員、石塚委員、加藤委員、金子委員、小林委員、佐野委員、田中委員、塚本委員、福田委員、和知委員

事務局 : 市川、新井、松本、浜

1 あいさつ

2 自己紹介

3 議事

(1) 令和元年度高齢者安全対策分科会の取組について

ア 高齢者安全対策分科会の取組経過について

- ・ これまでの経緯について再認証審査の際のプレゼンテーション用資料で説明  
転倒予防に資する取組、ヒートショック対策の取組と課題について

イ 2019年度 高齢者安全対策分科会 主要取組について

(ア) 会議等

- ・ 今年度は分科会は3回開催

(イ) 今年度の取組

① 高齢者の転倒予防

- ・ 転倒・転落予防啓発については、リーフレットを活用してイベント等で啓発、研修会の開催

② ヒートショック対策

- ・ 11月から1月をヒートショック啓発強化月間とし、リーフレットを活用して啓発

(2) 各団体・地域での活動報告・集約について

- ・ セーフコミュニティ取組の活動報告依頼

(3) 転倒予防に関するアンケート集計結果報告

- ・ 転倒予防の取組をした事前・事後の比較した結果を報告

(4) 今年度のスケジュールについて

# 令和元年度 第2回 栄区セーフコミュニティ 高齢者安全対策分科会 議事録

- 日時  
令和元年10月18日(金) 午後2時～3時30分
- 会場  
栄区役所 本館4階 2号会議室
- 出席者 (50音順)  
湯瀬座長、浅間委員、石塚委員、金子委員、小林委員、塚本委員、福田委員、和知委員  
事務局 : 角田、市川、濱、松本、岡田、新井

## 1 あいさつ

## 2 議事

### (1) ヒートショック対策に関する取組について

- ・区民まつりの啓発について
- ・地域のイベントでの啓発について
- ・栄区ツイッターの活用

### (2) 転倒予防対策の取組について

- ・転倒予防体操のリーダー研修報告
- ・転倒予防リーフレット活用状況
- ・転倒予防チラシの配布

### (3) セーフコミュニティ取組の指標の変更について

セーフコミュニティで設定している指標について一部変更について説明、了承  
変更：転倒予防の短期的指標・転倒予防の中期的指標  
ヒートショックの短期的指標・ヒートショック対策の中期的指標

### (4) セーフコミュニティフォーラム開催報告について

10月5日土曜日に栄公会堂で開催されたフォーラムについて報告

## 3 その他

今後のスケジュールについて確認

# 令和元年度 第3回栄区セーフコミュニティ 高齢者安全対策分科会 議事録

日時：令和2年2月18日（火）14：00～15：30

場所：栄区役所 本館4階 2号会議室

出席者（50音順）：湯瀬座長、浅間委員、石塚委員、加藤委員、金子委員、小林委員、田中委員、  
塚本委員、福田委員、山形委員、和知委員

事務局：市川、松本、濱、新井、岡田

## 1 あいさつ

## 2 議事

### (1) 分科会会員について

新分科会委員について紹介

### (2) 令和元年度高齢者安全対策分科会の取組について

- ・分科会
- ・転倒予防
- ・ヒートショック対策

#### (2) - 2 高齢者安全対策分科会取組指標

転倒予防及びヒートショック対策について、取組指標と実績を確認

#### (2) - 3 令和元年度転倒予防体操啓発実績

- ・地域活動グループやサロン等での取組実績について

#### (2) - 4 令和元年度転倒予防体操研修会報告

- ・支援者向け研修会を実施

#### (2) - 5 ヒートショック対策

- ・栄区 Twitter の活用開始、ポスター作成

#### (2) - 6 ヒートショック対策啓発実績

- ・出前講座実績について

#### (2) - 7 令和元年度栄区民まつり ヒートショックアンケート分析

アンケート結果報告・分析。認知度は高くなっているが、引き続き啓発が必要

#### (2) - 8 令和2年度にむけた取組課題

転倒予防研修等の評価について

**(3) 令和2年度高齢者安全対策分科会の取組について**

- ・分科会は今年度と同様3回行う

## 令和元年度

# 第1回 栄区セーフコミュニティ推進協議会 災害安全対策分科会

日時:令和元年5月17日(金)15時00分から15時50分まで

場所:栄区役所本館4階 2号会議室

## 次 第

- 1 地域防災拠点訓練実施状況報告について
- 2 セーフコミュニティ災害安全対策分科会からの提案について

※次回分科会は令和元年10月頃を予定しています。



## 令和元年度 災害安全対策分科会委員名簿

所 属		氏 名	役 職
座長	栄区連合町内会	磯崎 保和	栄区連合町内会長
副座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	毛利 勝男	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会会長
	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	加藤 重雄	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会副会長
	栄消防団	加藤 正基	副団長
	栄区火災予防協会	角田 宏子	会長
	栄区火災予防協会	小石 榮美	副会長
	栄区自衛消防隊連絡協議会	武田 政美	住友電工株式会社 横浜製作所
	栄区社会福祉協議会	小林 朋子	事務局長
	栄区小学校長会	福嶋 圭輔	本郷小学校校長
	栄区中学校長会	佐藤 典之	飯島中学校校長
事務局		見上 正一	栄区副区長
		井上 弘毅	栄区総務課長
		御所脇 佑介	危機管理担当係長
		岩崎 千里	福祉保健課事業企画担当係長
		三浦 正	栄土木事務所管理係長
		牧野 豊	栄消防署予防課長

※敬称略

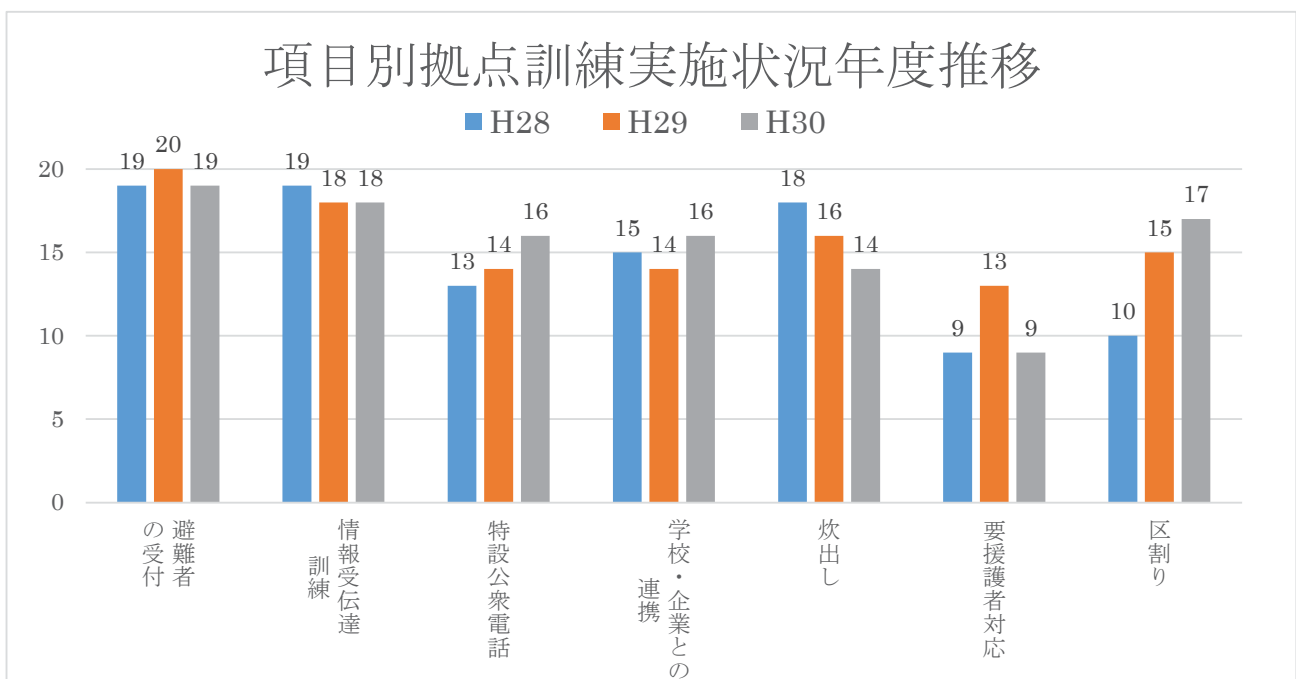
## 地域防災拠点における防災訓練実施状況

災害安全対策分科会においては、地域防災拠点における訓練について、「防災訓練」から拠点の開設・運営に焦点を当てた「拠点運営訓練」へのシフトを推進しております。

訓練内容ごとに見ていくと、平成 28 年度、平成 29 年度に引き続き、平成 30 年度は避難者受付訓練や情報伝達訓練においては高い実施割合を維持しています。また、啓発等の結果もあり、全体の 8 割以上の拠点で区割り訓練をはじめとした、多くの「拠点運営に係わる訓練」項目が実施されており、各拠点の意識の向上が見受けられます。

一方、炊き出し等の実施率が低下していることが確認できます。その理由について、平成 29 年度実施で平成 30 年度未実施の拠点にヒアリングした結果、拠点運営訓練の初動体制（避難者受付等）に重きを置いた訓練を実施したため未実施とのことでした。炊き出しについては拠点運営には欠かせない項目になりますので各拠点の活動を幅広く支援できるように検討を重ねていきます。

別紙 1 「訓練実施状況表」 参照



### 【参考】 ●防災訓練とは

主に A E D 訓練や初期消火訓練、煙体験など自助共助の観点からの訓練

### ●拠点運営訓練とは

上記の表に示した項目のような、円滑な地域防災拠点運営に関わる訓練

## 平成30年度 地域防災拠点訓練実施状況

学校名	避難者の受付	情報受伝達訓練	特設公衆電話	学校・企業との連携	炊出し	要援護者対応	区割り	その他特徴ある訓練
千秀小学校	○	○	○	○	○	○	○	
豊田小学校	○	○	○	○	○		○	夜間訓練
飯島中学校	○	○	○	○	○		○	夜間訓練
飯島小学校	○	○			○		○	ペット同行避難訓練
小菅ヶ谷小学校	○	○		○	○	○	○	夜間訓練 負傷者搬送訓練
本郷台小学校	○	○		○	○	○	○	夜間訓練 負傷者搬送訓練 トイレバックの説明と実験
笠間小学校	○	○	○	○	○	○		負傷者搬送訓練
西本郷中学校	○	○	○	○	○	○	○	HUG訓練 ペット同行避難訓練
西本郷小学校	○	○	○	○	○	○	○	夜間訓練 ペット同行避難訓練
小山台小学校	○		○	○			○	
本郷中学校	○	○	○	○	○		○	ペット同行避難訓練
公田小学校	○	○	○	○	○		○	備蓄庫確認
桂台小学校	○	○	○		○		○	LEDランタン取扱訓練
桂台中学校	○	○	○	○		○	○	避難生活体験宿泊 防災拠点トイレの使用体験
本郷小学校								
桜井小学校	○	○	○			○	○	ペット同行避難訓練
上郷小学校	○	○	○	○		○	○	震災時医療体制の整備 トイレバックの展示と凝固剤の実演 食糧等自宅配備の啓発
庄戸小学校	○	○	○	○	○	○	○	負傷者搬送訓練
旧庄戸中学校	○	○	○	○	○	○	○	夜間訓練 負傷者搬送訓練 ペット同行避難訓練
旧野七里小学校	○	○	○	○		○		負傷者搬送訓練

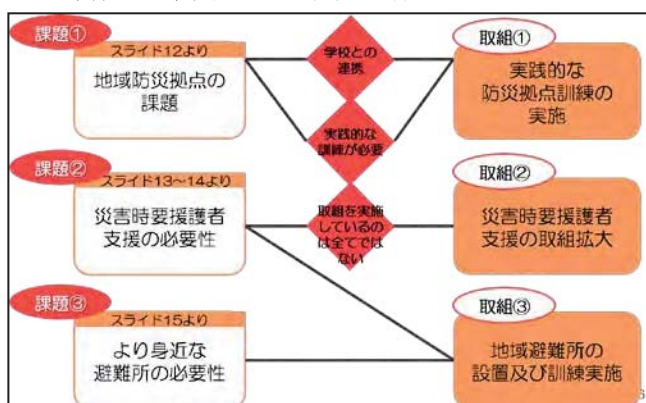
## セーフコミュニティ災害安全対策分科会からの提言について

栄区は昨年度、セーフコミュニティ再認証を取得し、分科会におけるこれまでの取り組みが認められました。災害安全対策分科会では取組みを更に推進するべく、昨年度第2回の分科会にて課題と取組について整理をし、概略の方向性についてご承認いただきました。本年度は以下の各項目の具体的な取り組みについて議論し、活動を展開していく予定です。以下の項目についてご意見をいただけますようお願い申し上げます。

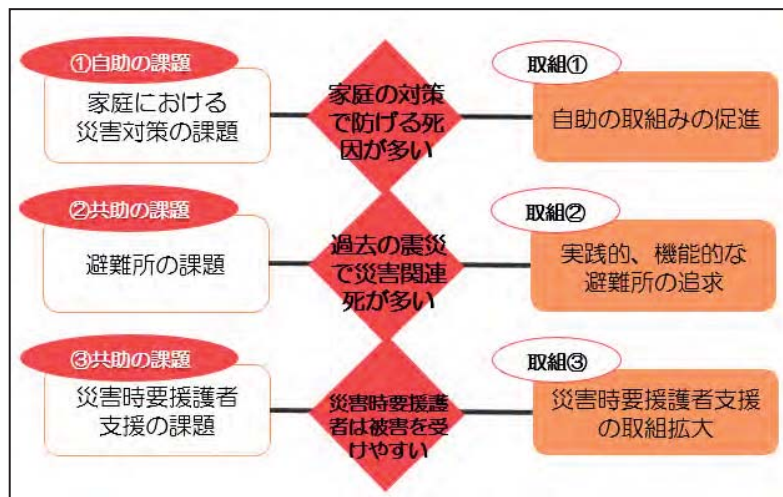
### 1 昨年度からの災害安全対策分科会の課題と取組の変更点（参考）

- (1) 過去の震災における大きな死因（災害関連死、家具・家屋の転倒）に対する、家庭における災害対策の課題にむけた「自助の取り組み」を新たに追加－①
- (2) 災害関連死の減少に向けた避難所の整備について、「地域防災拠点の課題」「より身近な避難所の必要性」の2つの課題を整理し、「避難所としての課題」に統合－②
- (3) 「災害時要援護者支援の取組拡大」は継続実施－③

平成30年度までの取組内容



令和元年度から今後5年間の取り組み内容



## 2 ① 自助の課題に対する取り組み

### 家具転倒防止対策助成事業及び耐震補強の広報の推奨について

#### (1) 趣 旨

元禄型地震による栄区内の死者数想定が43名であり、そのうち家具・家屋の倒壊による死者が42名となっています。また、平成7年阪神淡路大震災では、直接死で亡くなった方の83%が家具・家屋の倒壊によるものであるといわれています。

#### (2) 取組内容

平成30年度セーフコミュニティアンケートによると震災時の災害に対する備えとして39.3%が家具などの転倒防止対策の実施、13.9%が自宅の耐震補強対策が図られています。備えとして決して高い数値ではないことから、今年度も引き続き地域防災拠点運営訓練に合わせて、家具転倒防止について注意喚起を行い、家具転倒防止対策助成事業及び耐震補強の広報を実施します。(別添資料)

#### (3) 期待される効果

家具転倒防止対策及び耐震補強が図られることにより、震災発生時に家具・家屋の倒壊による死者数の減少が期待されます。

## 3 ② 実践的、機能的な避難所の追求

### 実践的な拠点運営訓練の推奨について

#### (1) 趣 旨

地域防災拠点における訓練実施状況からも、避難所運営訓練に含まれる各項目とも高い実施割合を示していますが、未だ公助に頼る拠点も多く、今一度の見直しが必要と考えます。

#### (2) 取組内容

全拠点運営訓練に対して、5年計画で全項目が実施できるように、訓練項目を2ずつ年度毎に指定し、参与と各拠点運営委員長と相談し、テーマを決めて訓練を行います。

#### (3) 期待される効果

全拠点が計画的に同じ訓練項目を行うことによって、各拠点毎の差を無くすことができます。また事務局としても今後の拠点運営訓練に対する課題、要望等も把握しやすく、具体的方策をとることができ、栄区全体の底上げを図ることができます。

#### 例) タイムスケジュール

	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
避難者受付・トイレ対策	○				総 合 訓 練
情報受伝達・特設公衆電話		○			
区割り・炊き出し			○		
要援護者対応・学校、企業等との連携				○	

※○がついた項目は訓練必須項目とし、その他は各拠点必要に応じた訓練を実施

令和 元年度	避難者受付、トイレ対策
令和 2年度	情報受伝達、特設公衆電話
令和 3年度	区割り、炊き出し
令和 4年度	要援護者対応、学校・企業等との連携
令和 5年度	総合訓練の実施

#### 4 ③ 災害時要援護者支援の取組拡大

##### 災害時要援護者を考慮した体育館以外の別教室の活用について

###### (1) 趣 旨

避難所環境改善の一環として、またみんなにやさしい避難所運営、災害関連死※<sub>1</sub>を防ぐ観点から、地域防災拠点の校舎内に災害時要援護者（高齢者、障害者、乳幼児・妊産婦など）用の別教室を概ね3教室確保することが望ましいとされています。

###### (2) 取組内容

地域防災拠点に指定されている栄区内小中学校長に対して、上記内容を確保できるように依頼します。また拠点運営訓練においても、別教室を活用した訓練を積極的に行うこととします。

###### (3) 期待される効果

発災時において、別教室を活用した要援護者対策が円滑に展開することができ、災害関連死の減少が見込まれます。

※1…災害による火災・水難・家屋の倒壊など直接的な被害による死ではなく、避難生活の疲労や環境の悪化などによって、病気にかかったり、持病が悪化したりするなどして死亡すること

#### <参考>

栄区の災害関連死による死者想定…約 116 人

熊本地震における直接死と災害関連死の比率から災害安全対策分科会事務局で推計（直接死による死者数：災害関連死による死者数=27:73に基づき、栄区の直接死による死者想定 43 人で計算）

総務課防災担当

担当：御所脇、江田、中山

電話：045-894-8311

F A X ：045- 895-2260

E-MAIL：sa-bosai@city.yokohama.jp

## 令和元年度

# 第2回 栄区セーフコミュニティ推進協議会 災害安全対策分科会

日時:令和元年 12月6日(金)15時30分から16時30分まで

場所:栄区役所本館 1階会議室

## 次 第

- |   |                    |      |
|---|--------------------|------|
| 1 | 地域防災拠点訓練実施状況報告について | 資料 1 |
| 2 | トイレパックの配布について      | 資料 2 |
| 3 | 家具転倒防止の啓発について      | 資料 3 |
| 4 | 地域防災拠点の看板設置について    | 資料 4 |

## 令和元年度 災害安全対策分科会委員名簿

所 属		氏 名	役 職
座長	栄区連合町内会	磯崎 保和	栄区連合町内会長
副座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	毛利 勝男	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会会長
	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	加藤 重雄	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会副会長
	栄消防団	加藤 正基	副団長
	栄火災予防協会	角田 宏子	会長
	栄火災予防協会	小石 榮美	副会長
	栄区自衛消防隊連絡協議会	武田 政美	住友電工株式会社 横浜製作所
	栄区社会福祉協議会	小林 朋子	事務局長
	栄区小学校長会	福嶋 圭輔	本郷小学校校長
	栄区中学校長会	佐藤 典之	飯島中学校校長
事務局		見上 正一	栄区副区長
		井上 弘毅	栄区総務課長
		御所脇 佑介	危機管理担当係長
		岩崎 千里	福祉保健課事業企画担当係長
		三浦 正	栄土木事務所管理係長
		牧野 豊	栄消防署予防課長

※敬称略



# 第 2 回 災 害 安 全 対 策 分 科 会 座 席 表

令和元年12月6日（金）  
 15時30分から16時30分  
 栄区役所本館 1階会議室

栄区副区長

栄区連合町内会長

栄区地域防災拠点  
 運営委員会連絡協議会会長

栄区総務課長

見上  
正一

磯崎  
保和

毛利  
勝男

井上  
弘毅

栄火災予防協会会長 角田 宏子			栄区総務課危機管理担当係長 御所脇 佑介	事務局
栄火災予防協会副会長 小石 榮美			栄消防署予防課長 牧野 豊	
栄区自衛消防隊連絡協議会 武田 政美			栄土木事務所管理係長 三浦 正	
栄消防団副団長 加藤 正基			栄区福祉保健課事業企画担当係長 岩崎 千里	
栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会委員 加藤 重雄			栄区福祉社会協議会事務局長 小林 朋子	
			栄区小学校長会 福嶋 圭輔	出入口
			栄区中学校長会 佐藤 典之	

## 令和元年度 地域防災拠点における防災訓練実施状況

災害安全対策分科会においては、地域防災拠点における訓練について、「防災訓練」から拠点の開設・運営に焦点を当てた「拠点運営訓練」へのシフトを推進しております。

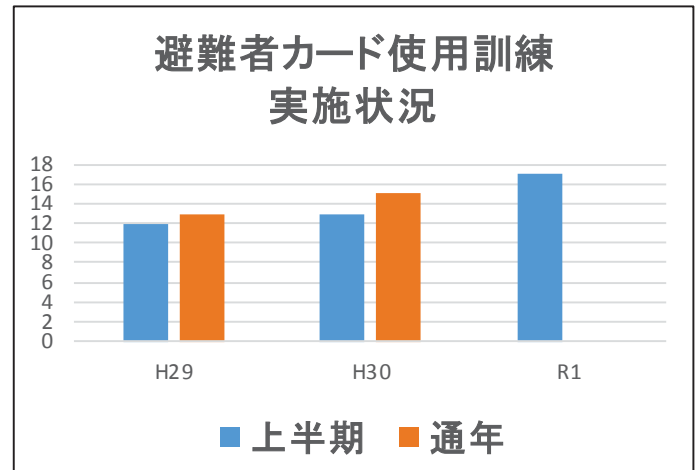
今年度、本分科会では避難者受付訓練とトイレ対策の推進に特に力を入れており、各拠点に二つの項目を訓練の必須項目として実施をお願いしています。本年度は、年度途中の段階ですが、どちらの項目も高い実施率を記録しています。(別紙1 令和元年度訓練実施状況(11月末時点まで)参照)

### (1) 避難者受付訓練について

避難者受付カードを使用して受付訓練を実施している拠点がすでに、平成29年度、平成30年度の一年を通しての数を超えており、実践的な訓練が行われているといえます。

しかし、独自の様式を使用している拠点もあるため情報の質に差が出る可能性があります。

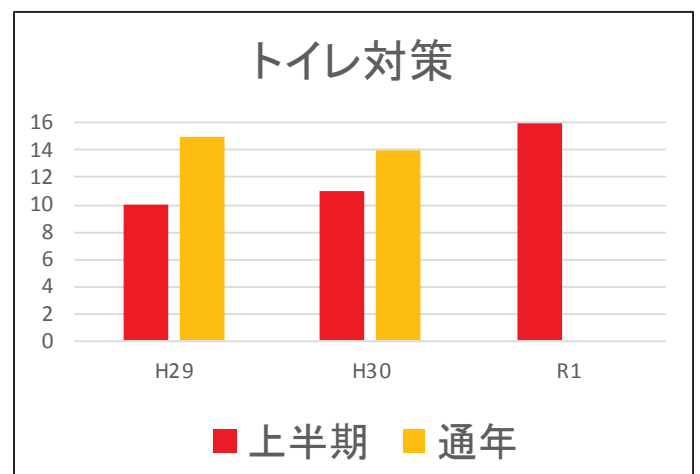
それを解消するために、本分科会では、避難者カードを使用する目的の周知と併せて統一の様式(別紙2、3参照)を推奨していき、独自の様式を使用する際にも、必須の項目を入れるように指導をしていきます。



### (2) トイレ対策について

トイレの対策についても、平成29年度、平成30年度の年間通して行った拠点の数をすでに超えており、各拠点の意識の向上が見受けられます。

過去の震災による避難所生活においてもトイレ対策は重要であり、健康管理の面からも欠かすことのできない項目になりますので、トイレパックの啓発等を通して、各拠点のトイレ対策への意識をより高めていきます。



## 令和元年度 地域防災拠点訓練実施状況（11月末時点まで）

学校名	避難者の受付	トイレ	情報伝達訓練	特設公衆電話	区割り	炊出し	要援護者対応	学校・企業との連携	その他特徴ある訓練
飯島小学校	○	○	○						
豊田小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	
千秀小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	負傷者搬送訓練
笠間小学校	○	○	○	○	○	○		○	
本郷台小学校	○		○	○	○	○		○	ペット同行訓練
西本郷小学校	○	○	○		○	○	○		ペット同行訓練
小菅ヶ谷小学校	○	○	○	○		○		○	負傷者搬送訓練 夜間対応訓練
小山台小学校	○	○	○	○				○	ペット同行訓練
桜井小学校	○		○	○	○				
桂台小学校	○	○				○			
公田小学校	○	○	○		○	○		○	
上郷小学校					○				
庄戸小学校	○	○	○	○	○		○		ペット同行訓練
旧野七里小学校	○	○	○	○		○		○	負傷者搬送訓練
飯島中学校	○	○	○	○		○		○	負傷者搬送訓練
西本郷中学校	○	○	○	○	○		○	○	HUG
本郷中学校	○	○	○		○		○		
桂台中学校	○	○							
旧庄戸中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	ペット同行訓練 負傷者搬送訓練 夜間対応訓練

※赤いセルは避難者カードを使用した拠点

## 避難者カード(兼 安否確認票)

No.

学校地域防災拠点

※ みなさまの安否情報の問い合わせについて、ご希望の番号にチェックをつけてください。

問い合わせに・・・

- 1 下記の情報を公表しないでください。  
2 下記の情報を公表しても結構です。(インターネットでも検索できます。)  
3 一部の項目だけ回答しても結構です。

(回答してもよい項目にチェックをつけてください。インターネット検索時、チェックした項目のみ表示されます。)

< 住所(区町名まで) 性別 年齢 身体の状態 所在場所 >

※1世帯で1枚記入(下線の引かれた項目は、必ず記入してください。)

確認者

避難した日時	年 月 日 :	
退去した日時	年 月 日 :	
避難生活区画	<input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 教室(階 年 組用) <input type="checkbox"/> _____	
住 所	〒 _____ 区 町 丁目 番 号 *アパート・マンション名	

同居家族全員を記入してください。

フリガナ 氏 名(NAME)	性別	年齢	身体の状態	所在場所	備 考 ※原則非公開ですが、インターネット検索時に、備考を表示する場合は「 <input type="checkbox"/> 表示する」にチェックしてください。	電話(携帯)番号 (インターネット検索用)
災害活動に関する 特技・資格など						
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	- -

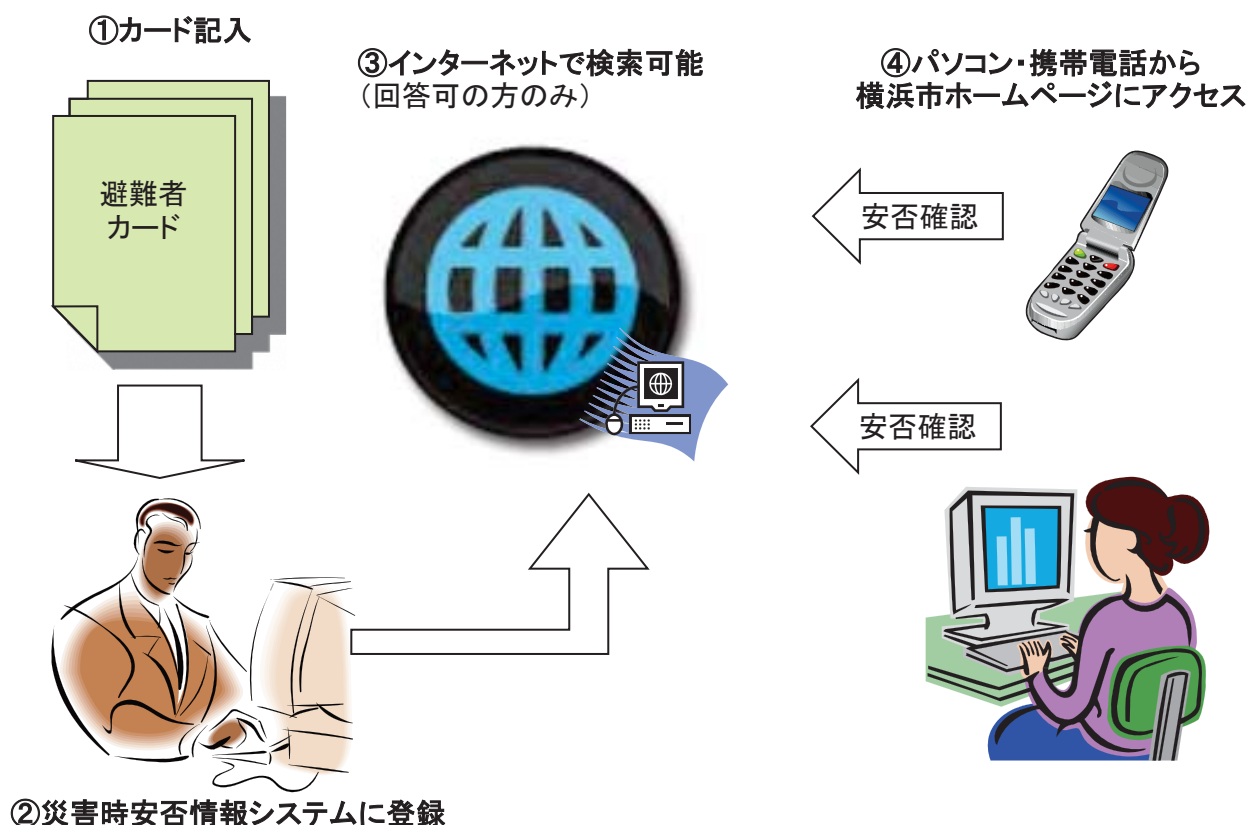
※電話番号及び携帯番号は検索用

にのみ利用し公表はしません。  
 ※本情報は、災害時のみの利用とし、災害対策本部の廃止後に消去します。

## 避難者カード(兼 安否確認票)の 各必須項目をご記入いただく目的

- この地域防愛拠点、あるいは地域防災拠点以外の場所(自宅など)にどなたがいらっしゃるかを把握します。
  - 避難者とそのご家族の安否情報を把握します。
  - ご記入いただいた内容を災害時安否情報システムに登録し、避難者情報を災害対策本部と共有します。
  - インターネットで避難者とそのご家族の安否情報を検索できるようにします。  
(カードの記載内容の公表につき、承諾された方のみ)
- ※ 検索時に、氏名及び電話番号を入力しますので、カードの記載内容の公表につき、承諾された方は電話番号をご記入いただくことをお勧めします。  
(同姓同名者がいた場合、個人を特定する情報となります。)

### 【避難者カード(兼 安否確認票)運用のイメージ】



## トイレパックの配布について

令和元年度、災害安全対策分科会では地域防災拠点でのトイレ対策に特に力を入れており、その取り組みを進めています。

上半期の訓練が終わり、16 拠点においてトイレの訓練を行われました。その中の6 拠点においてはトイレパックを使用した訓練が実施されました。トイレパックはコンパクトで数も用意しやすく、また簡単に使えるため、発災時に最も使用される頻度が高いと考えられます。下半期はトイレパックを使用した訓練にも力を入れていただくため、各拠点にトイレパックを50 個配布する予定です。



配布するトイレパックのイメージ

トイレパックの実演の様子

配布したトイレパックは拠点訓練において積極的に使用してもらい、実際に使える人を増やしていけるよう、啓発を進めていきます。

### ※訓練例

- ①組立トイレ等に ②水を入れた後、 ③排便袋を取り出し  
排便袋をセット → 凝固剤を振りかけて → 口を結んで可燃ごみ  
します。 固めます。 として処分します。

※ペットボトルや紙コップなどを使って、凝固剤の体験も簡単にできます。



## 家具転倒防止啓発について

平成 29 年度に実施した区民意識調査の中で「あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。」という質問で、家具などの転倒防止対策をしていると答えた人の割合は 21 パーセントでした。

それを受けて平成 30 年度は拠点訓練や、拠点の運営委員会など、訓練に集まる人を中心にチラシを配布していましたが、令和元年度は不特定多数の人が集まるイベントにて、チラシ配りを実施し、家具転倒防止の啓発を行っています。

### ① 救急の日（9月9日）

大船駅で栄消防署がチラシ配りを実施し、通行人に 500 部配布して啓発しました。



### ② 防災講演会（9月26日）

栄公会堂で行われた防災講演会にて、来場者に 200 部配布して啓発しました。

### ③ 区民まつり（11月2日）

（救急の日チラシ配りの様子）

本郷中学校で行われた区民まつりで、参加者に 100 部配布して啓発しました。

### ④ 消防署が行うチラシ配布（通年）

消防署が行っている住宅用火災警報機の設置啓発事業の防災訪問の際に、合わせて家具転倒防止チラシも配布していただきました。10 月末時点で区内在住の 65 歳以上の方 247 人に啓発を行いました。

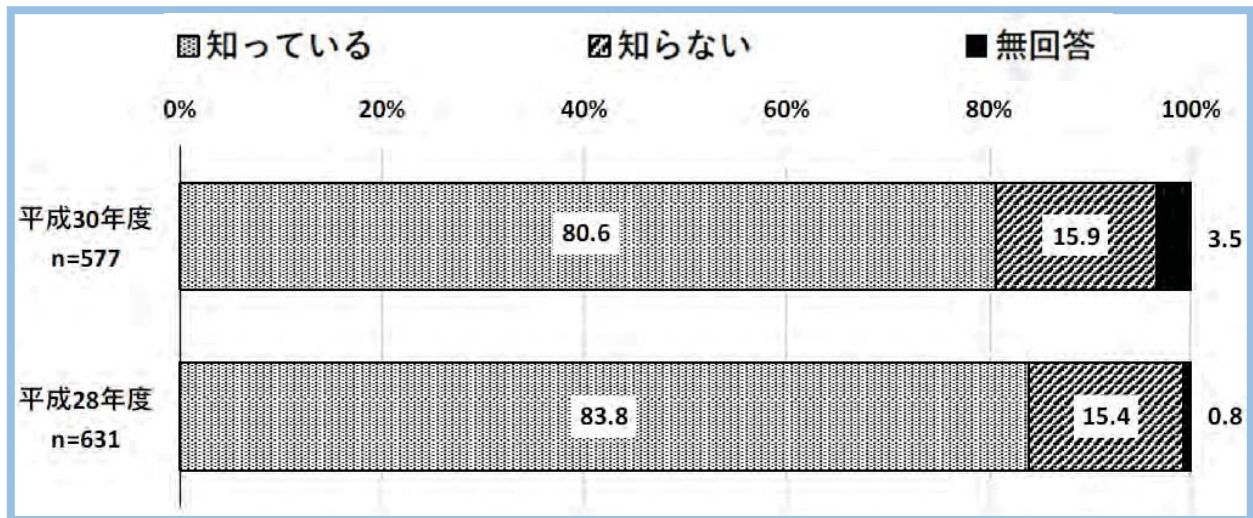
また、公益財団法人かがやきクラブ横浜が本郷地区センターで、市内の概ね 60 歳以上の方を対象に高齢者の教養の向上・健康の増進並びに時代に適応した社会感覚と知識を深めるための学習活動として行った「横浜シニア大学」にて 40 人にチラシを配り啓発を実施しました。

啓発の効果については、本年度実施する区民意識調査の結果で判断します。

## 地域防災拠点での看板の設置について

(1) セーフコミュニティで行ったアンケート（平成 30 年度と平成 28 年度）について

問「地区で震災時に避難する地域防災拠点がどこかを知っていますか」



※アンケートは隔年で行っており、区内に居住する 20 歳以上の男女 1,500 人に調査を実施し、n=〇〇は回答者の人数を表しています。

(2) 地域防災拠点看板設置について

平成 30 年度は平成 28 年度に比べて、自分が避難する拠点を知っている人の割合が 3.2 ポイント下がったという結果が出ました。（上記アンケート参照）

そこで、避難所の周知啓発の一環として、地域防災拠点に右記のような看板を設置します。

（最大たて 600mm×よこ 900mm）

現在、区内で恒常的に看板を設置している拠点はなく、設置することで、震災時に自分が逃げる拠点を知っている人を増やしていきたいと考えています。



（イメージ）



令和元年度栄区セーフコミュニティ 第1回自殺予防対策分科会 議事録

日時：令和元年9月10日(火)10時30分～12時00分

場所：栄区役所新館1階 101号会議室

出席者委員 牛尾委員・小田原委員・金子委員・猿山委員・庄司委員・田中委員・野村委員  
本田委員・松吉委員

欠席委員 臼井委員・小川委員・二宮委員

出席オブザーバー 土井原氏・吉田氏

事務局 青木（福祉保健センター長）・小泉（福祉保健センター担当部長）・林（福祉保健課長）・角田（高齢・障害支援課長）・村山（生活支援課長）・岩崎（事業企画担当係長）・小出（障害者支援担当係長）・職員 9名

開会 10:30	
1 新委員の紹介	
事務局	新委員のご紹介 野村委員、金子委員
2 (1) 平成30年度栄区の自殺予防対策の取組について	
事務局	(取組の体系、資料1 説明)
委員	(質問、意見 特になし)
2 (2) 令和元年度栄区の自殺予防対策の取組について	
事務局	資料2、3 説明 栄共済病院での取組状況については、松吉委員にお話したい。
松吉委員	・4月以降、数としては、2～3名 ・重症だった方等には渡せていないが、救急外来へは置かせてもらっている ・病院がまだフルオープンでない。 ・昨年の分科会の中で、見えないところにおいてあると減っていくという話があったが、トイレへの配置は病院としては難しい。
座長	・事務局及び松吉委員からご報告いただいた。 ・取組3の指標の中で、メンタルヘルス支援ネットワークと従事者専門研修を統合してスリム化、取組2のハートフルサポーター育成ではメンタルヘルスという視点で考えたという変化があった。 ・それ以外は、基本的には同様である
3 (1) 今後の取組の進め方について	
事務局	・昨年度の報告と、今年度の取組を事務局からした。 ・本日は横浜駅のキャンペーンで健康福祉局が欠席のため、横浜市の動き、現状などは次回に持ち越す。 ・分科会のなかで、委員のみなさまと活発な意見交換をしたい。 ・そのきっかけとして、「みんなでゲートキーパー宣言」を使い、現状を共有したい。

	(「ゲートキーパー養成研修用資料」「みんなでゲートキーパー宣言」説明)
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺の現状、自殺予防対策の取組、そこから都道府県市町村の自殺対策計画策定が義務化されたことを踏まえて、横浜市の自殺者の現状、栄区のプロフィール、市の自殺対策計画の重点施策について話された。</li> <li>・後半はゲートキーパーの役割についてお話だった</li> <li>・今日ご出席されている委員のみなさまの日々の活動のなかで、直接的、間接的に自殺防止につながる取組や気づきを意見交換したい。</li> </ul>
庄司委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある方を中心に、地域の中で生きにくさを感じている方、そのご家族から多方面でのご相談を受けている。</li> <li>・自殺は重い問題で発言は難しいが、間接的に自殺予防につながっていると思う事例を紹介する。</li> </ul> <p>(事例紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇〇に行きたい」は「どこかに行ってしまう」ということで、ある意味自殺の「消えてしまいたい」、と重なってくる思いだと思う。</li> <li>・ゲートキーパーのお話がありましたが、特別な技術や支援ということではなく、日頃からの関係性が「そういう思いをさせない」という重要な要素であると日々の業務の中で感じている。</li> </ul> <p>(事例紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が住んでいるところでの人間関係は、生きる活力につながっていくのではないかと思う。</li> <li>・どういう生き方をしようかと、認め合うということを考えていくことが今後は大切だと思う。</li> </ul>
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例、具体的な事例をご紹介いただくとわかりやすい。</li> <li>・デリケートな問題なのでカミングアウトにつながる方ばかりではないけれど、輪を広げていくことが自殺予防につながっていると感じた。</li> </ul>
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期からこの分科会に参加しているが、立ち上げの時を思い出した。地域の活動ということをしている立場から、「なぜ、こんな難しい分科会を立ち上げたのか」を論議していた。</li> <li>・地域サイドで参加している人は、「自殺」ということに対して何もわからず、他人事、重い話、あんまり言いたくない、これが地域の実態だった。それを分科会として取り上げたのは先見の明があったと思う。</li> <li>・当時は、リーフレット作成案や、どうやってみんなに周知しようかと話していて、英国の実態を調べたところ、いわゆる「アウトリーチ」で、医者やカウンセラーなど専門分野の方がチームを組んで一人の患者を定期的に支</li> </ul>

	<p>援していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本では、往診しても最大 15 分。あまりにも患者が多くて先生も疲れてしまっている。また、専門医にどうつながりかとも難しいという実態が日本にはあり、医師会にも働きかけをし、先生方も動いてくださった。栄区は先進的な取組をしてきたと思う。</li> <li>・次に大切なこととして、地域にいかに浸透させるか。ゲートキーパー“門番”では広がらないので、名称を検討し、「ハートフルサポーター」とし、保健活動推進員では、延べ 400 人位が活動している。</li> <li>・また、区連会の報告、定例会の中で、栄区の実態を伝え、地区の方々にも説明してきた。少しずつだが、これから勝負だと思っている。</li> </ul>
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発足当初から委員の田中委員からのお話で、理念含め共有できよかった。</li> </ul>
野村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科医ではないため、自殺念慮がある方がいれば、精神科に紹介するが、混んでいて難しい。</li> <li>・実際にそういう方がいらしたとき、その方がご自宅に帰られてから、その方にご家族の方がいればその方のケアもしていくことが必要だと感じる。</li> <li>・つなぐことをやってくれる方は、どなたなのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘いただいたように、自殺念慮がある方が切迫しているかの判断もあり、医師も判断が難しいようなケースをサポートがというのも難しいことだと思う。</li> <li>・そうなる前に普段の生活を支えていこうというのが今回の主旨。</li> <li>・直接的な回答ではないが、資料 2 の 4 ページ「警察、消防、病院との連携会議」がある。本当に緊迫しているときには、精神科の救急システムを使わざるを得ないが、そういうシステムを使うような方であれば、センターで関わっている方もいるだろうし、うまく情報共有されながら自殺予防対策されていくと思う。</li> </ul>
野村委員	<p>具体的にどうしていくのがいいか、医師会の中でも周知できればと思う。</p>
牛尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援センターは、精神障害者の方の相談と居場所という位置づけで、時々「死にたい」という相談も入る。</li> <li>・登録されている方はある程度背景もわかり対応できるが、知らない方や、匿名の場合は、話を聞く中で、緊張を抑え次につながるようにしている。実際に次につながっているかはわからない。</li> <li>・何名かセンターの利用者で亡くなられているが、切迫した相談があったわけではなく、何がきっかけになったのか、つかめなかったという思いが残る。</li> <li>・サポーターと同じようなことを仕事でもしているが、実態を知っているわけではないので、ハートフルサポーターの研修は区役所職員だけでなく、関係機関職員にも知ってもらいきっかけとなるといいと思う。</li> </ul>
座長	<p>いいアドバイスなので、活動内容にも反映していただければと思う。</p>
吉田氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私もこの分科会に当初から関わっている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年から生活訓練事業を始めたが、亡くなられた方がいる。</li> <li>・自殺対策の基本認識としてあがっている、「自殺はその多くが追い込まれた末の死」といっても彼が何に追い込まれたのかわからない。「社会的な取組で防ぐことが出来る」とあり、私の施設以外の機関の関わりもありましたが、防げなかった。「自殺を考えている人は何らかのサインを発していることが多い」というがわからなかった。</li> <li>・悔しい思いもあり、改めて何が出来るかということを考えている。</li> <li>・区として取り組んでいるので、自殺する人、関わった人たちが強くつながるとよいと、そのためにはどうしたらいいのかと思っている。</li> </ul>
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人に問題意識をもって接していることが、結果として自殺予防になればいい。</li> <li>・何をするかということより、日頃からそういうつながりを重視して支えていく、そういう気持ちが必要だと思う。</li> </ul>
座長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺防止学会に土居原氏と出席してきた。</li> <li>・若者の自殺、学童期から青年期の自殺をどう対策していくか、ということだった。虐待やいじめ、学校問題、家庭問題が若年者の健康問題以上に問題となっていて、特に幼少期のトラウマはその後の頻回の自殺企図、自殺リスクも高めるというエビデンスもある。</li> <li>・横浜市の重点施策に書いてあるように、時間軸を考え、いじめをなくす、虐待をなくすということが、年齢があがってからの自殺を減らすことにつながる。</li> <li>・コミュニティという視点で何かあったときにみんなで支え合うことも大切だが、人生、年齢という時間軸にそって、健全な心を育てていく、経済的困窮者にはサポートをする、多面的なサポートをしていく、見捨てずに気付き声をかけていくことも大切だと感じた。</li> <li>・他の分科会との関係性、何が出来るのかという可能性についても膨らませていければと思う。</li> </ul>
4 その他	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフコミュニティフォーラムのちらしをお配りする。ご参加ください。</li> <li>・次回の分科会は3月に開催したいと考えている。</li> </ul>
閉会	

令和元年度栄区セーフコミュニティ 第2回自殺予防対策分科会 議事録

日時：令和2年3月19日(木)10時30分～12時00分

場所：栄区役所新館8号会議室

コロナウィルス感染症拡大防止のため、会議室に集合しての開催をとりやめ、書面による開催としました。

委員、オブザーバーに資料を3月13日(金)に発送し、意見等あれば事務局へ連絡してもらおうよう依頼しました。(添付 送付文参照)

委員、オブザーバーからの意見はありませんでしたので、次第の資料2(令和2年度自殺予防対策に関する取組スケジュール)のとおり取組を進めていきます。

令和元年度 第1回 防犯対策分科会会議録	
日 時	令和元年8月6日(水) 13時30分から
開催場所	栄区役所新館4階7号会議室
出席者	委員：持田、岡田、中村、内藤、小川(敬称略) 事務局：根本、石塚、武内、臺丸
議 事	<p><b>1 広報よこはま栄区版10月号特集について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局から令和元年広報よこはま栄区版10月号の特集として、「振り込め詐欺対策」を掲載することについて、説明があった。</li> <li>掲載する記事の中に、被害を未然に防ぐために「詐欺かと思ったら、すぐに栄警察署に連絡する」旨、掲載するようことの意見があった。</li> </ul> <p><b>2 区民まつりにおける防犯コーナーについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局から、令和元年11月2日(土)開催予定の栄区民まつりにおいて、昨年度に引き続き「防犯コーナー」を出展することについて説明があった。</li> <li>啓発物品として、振り込め詐欺対策についてデザインされたトイレットペーパーを購入するのはどうかという意見があった。</li> </ul> <p><b>3 平成30年度振り込め詐欺に関するアンケートの結果について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局から平成30年度振り込め詐欺に関するアンケートの結果について報告があった。</li> <li>アンケートでは防犯意識が高い結果となっているが、実際には他人事と思っている方も多という意見があった。</li> <li>自らアンケートに答える人は、もともと防犯意識が高い方である。病院の待合室など、高齢者の目につきやすいところに啓発チラシの配架、ポスターの掲示などが有効ではないかという意見があった。</li> </ul> <p><b>4 さかえセーフコミュニティフォーラムについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局から令和元年度「さかえセーフコミュニティフォーラム」の開催について説明があった。</li> </ul> <p><b>5 合同パトロールについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄警察署から自治会・町内会で実施している防犯パトロールに警察官が同行してパトロールを行う、合同パトロールについて説明があった。</li> </ul> <p><b>6 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄警察署から令和元年における犯罪発生状況について説明があった。</li> <li>振り込め詐欺について、昨年と比べ神奈川県内では被害件数、被害額ともに減少しているが、栄区内では被害件数、被害額ともに増加しているとの報告があった。特にキャッシュカード交付型の詐欺が増えているため、注意喚起が必要との報告があった。</li> <li>持田防犯協会会長から「こどもの見守り」について、他自治体の取組の紹介があり、栄区内でもぜひ取り組んでいきたいという説明があった。</li> </ul>
資 料	<p>1 広報よこはま栄区版10月号特集</p> <p>2 第19回栄区民まつり会場案内図、実施計画書</p> <p>3 平成30年度振り込め詐欺に関するアンケートの結果</p> <p>4 令和元年度「さかえセーフコミュニティフォーラム」の開催について(通知)</p> <p>5 栄警察署からのお願い「合同パトロールで犯罪抑止」</p>

令和元年度 第2回 防犯対策分科会会議録	
日 時	令和2年2月21日(金) 14時00分から
開催場所	栄区役所新館4階7号会議室
出席者	委員：持田、岡田、中村、西川、内藤、小川(敬称略) 事務局：根本、石塚、武内
議 事	<p><b>1 各団体における取組みの報告について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から11月2日(土)に開催された栄区民まつりで、防犯ブースを出展し、栄警察署・防犯指導員と連携して、啓発を行ったと報告があった。また、防犯メールを使った注意喚起、防犯灯の設置や不具合への対応状況、地域と区役所が連携したパトロールの実施、広報よこはま栄区版における振り込め詐欺対策の特集記事の掲載、防犯グッズ配布による地域活動の支援、自治会・町内会回覧板の作成について報告・説明があった。</li> <li>・栄警察署からは、令和元年は特殊詐欺や侵入盗が平成30年と比べ増加しており、特殊詐欺についてはカード手交型の手口が増えており、侵入盗では、忍び込みによる被害が多かった。特殊詐欺、侵入盗ともに横浜市の中でも栄区以外でも戸塚区、金沢区、磯子区においても増加しているとの説明があった。</li> <li>また、特殊詐欺における令和元年の検挙件数は3件であったとの説明がありました。</li> <li>・区消費生活推進員の会からは、出前講座等をあまり大きくない自治会・町内会等の小さいコミュニティで実施していることにより、親しみをもって聴いていただけており、地域に密着した活動ができているとの説明がありました。</li> <li>・区シニアクラブ連合会からは、毎年「シニア大学」を実施しており、講座の中に警察署を招いて防犯関係のお話をさせていただいているとの説明がありました。</li> <li>・区保護司会からは、理事会において、警察署を招いた特殊詐欺に関する講演や、警察署と連携して本郷台駅前のパトロール等を行ったとの説明がありました。</li> <li>・区防犯指導員連絡協議会からは、毎月10日のパトロール、偶数月の金融機関での特殊詐欺被害防止啓発を実施しており、地域の方と顔なじみになることもあり、コミュニケーションを取るようになり、地域の見守り活動にもなっているのではないかと説明がありました。</li> <li>・座長からは、栄区の防犯に関する関係機関が連携して、より綿密に情報を地域へ発信することを進めていくことが大事であるとの説明がありました。</li> </ul> <p><b>2 振り込め詐欺に関するアンケートについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から今年度も引き続き、翠風荘においてアンケートの実施を行う旨の説明があり、了承された。</li> <li>・ケアプラザにおいてもアンケートを実施するのはどうかとの意見があり、事務局から検討する旨説明があった。</li> </ul>
資 料	<p>1 各団体における取組みの報告について</p> <p>2 振り込め詐欺に関するアンケートの実施について</p>